

精密部品の加工会社 株式会社坂製作所

オンリーワン に生きる

〈69〉

株式会社坂製作所(京都市右京区、坂栄孝社長)は1960(昭和35)年創業の精密部品の加工会社。創業時よりオムロンなどの精密部品の加工を請け負いながら技術力を高めてきた。現在も下請けを主力としながらも、その技術を活かした「極小型コンプレッサ」の開発で独自色を強

めて、一躍脚光を浴びている。しかし従来のコンプレッサは小型のもので約10キ以上で、ミカン箱程度であった。また、作動時の騒音も大きく、工場以外で使用するには更なる小型化・静粛性を高めることが求められていた。坂社長は大阪商業大学卒業後、島津グループの企業でIT関係の業務に従事し、将来は起業を考

えていたという。「私と呼ばれる、空気を圧縮し、それぞれに長所と短所がある。また、音を小さくするために金属部品の表面にプラスチックなどを塗

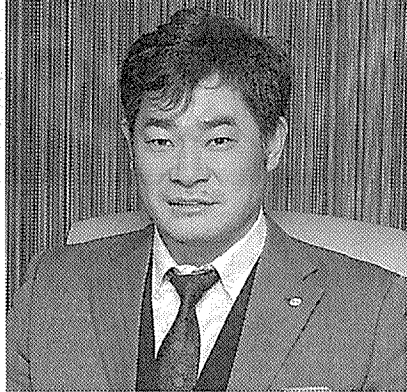
えていたという。「私と呼ばれる、空気を圧縮し、それぞれに長所と短所がある。また、音を小さくするために金属部品の表面にプラスチックなどを塗

る圧縮、スクロールによる圧縮などがあるが、それ合う際にどうしても騒

音や振動が発生してしまう。また、音を小さくするために金属部品の表面にプラスチックなどを塗

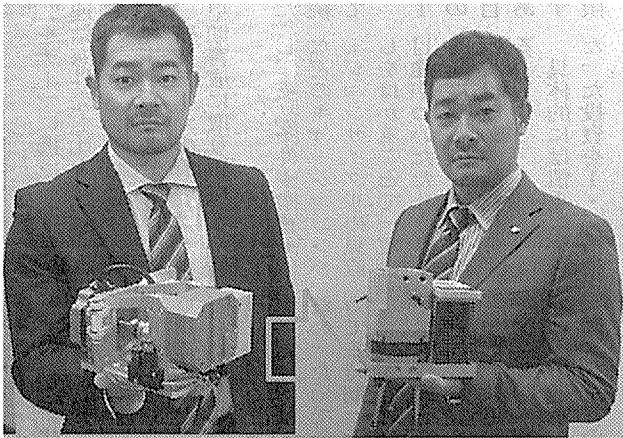
る圧縮、スクロールによる圧縮などがあるが、それ合う際にどうしても騒

坂 栄孝社長



坂社長は大阪商業大学卒業後、島津グループの企業でIT関係の業務に従事し、将来は起業を考

騒音レベルを大幅に低下



従来品(左)との比較。大幅な小型化に成功し、多くの有名企業からの問い合わせが相次ぐ

「京都中小企業優秀技術賞」などを受賞



京都ビジネス交流会2016にもブースを出展。同社の極小型コンプレッサは来場者の注目を浴びている

「京都で生まれ育った当社は京都に恩返しをする義務があります。昔からものづくりで発展してきた京都を盛り上げるためにも、私にできることは何でもやってみようと考えています」と力強く話す。将来について「現在コンプレッサ事業は売上げの2割程度ですが、半分ぐらいに伸ばしたいと考えています。下

「京都で生まれ育った当社は京都に恩返しをする義務があります。昔からものづくりで発展してきた京都を盛り上げるためにも、私にできることは何でもやってみようと考えています」と力強く話す。将来について「現在コンプレッサ事業は売上げの2割程度ですが、半分ぐらいに伸ばしたいと考えています。下

「極小型コンプレッサ」の開発成功で一躍脚光浴びるの

布することもありますが、耐久性や圧縮効果が大幅に低下する。

同社の「浮遊スクロール

ル」は直接金属同士の接す」と、静粛性を説明す

触をなくすことで、騒音も、この結果、同社のコンプレッサは工場に加

は、「一般的なコンプレッサは、騒音レベルが14年には特許を取得約70db(デシベル)で、近畿経済産業局のすが、当社のコンプレッサは標準タイプで50db程度です。これは静かな事務所と同様に5回知恵ビジネスプラン

1/3程度に感じる差で15年に京都府「京都市

s.com

〈所在地〉京都市右京区花園伊町44-12
TEL 075-463-4214
〈URL〉http://www.sakais.com